

## 野田学区世話やき活動



### 【野田学区】

■世帯数：5,252 世帯

■人 口：11,502 人

■面 積：1.265 k m<sup>2</sup>

平成 26 年 7 月 1 日現在

### 1 活動・取り組みの内容

- ・ 「地域の子どもは地域で守り育てる」との観点から、地域のおじさん、おばさんとして近所の子どもたちに関心をもち、日常的に積極的に声かけなどを行い、温かく見守り、地域の連帯感と教育力を高めていく活動。
- ・ 学区内から、こども街角サポーター（活動の推進役）として約 160 名が参加し、登下校時に分団の集合場所で毎日子どもとあいさつを交わす日常の活動のほか、一斉キャンペーン、10 月と 2 月には月間・下校キャンペーンを実施している。
- ・ 定期的に反省会を行い、反省会の内容を活動に反映している。

#### 【住民への PR 方法】

チラシの回覧、町内会からの街角サポーターの推薦

#### 【アピールポイント】

活動中に地域住民（通行人）への挨拶運動ができたほか、地域全体で活動して学区内の交流が深まり、各種団体や PTA・学校との連帯感が出てきた。

### 2 きっかけ、背景

地域の子ども達の健全育成、地域住民の交流を深めるために登下校時の子どもの見守り活動をはじめた。名古屋市で 2 番目のモデル学区に指定された。

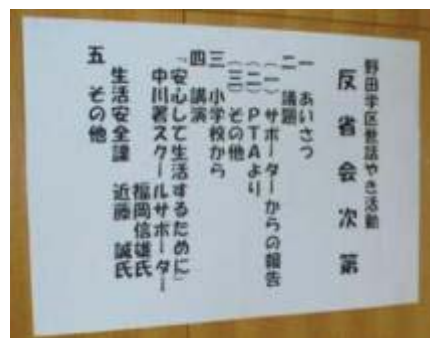
### 3 実施の体制

#### (1) 運営メンバー

区政協力委員、こども街角サポーター、PTA  
計約 160 人

#### (2) 運営協力

小学校のPTAと協議しながら運営している。



### 4 実施のスケジュール

H15年 9月 世話やり活動発足

H17年 6月 ・これまで、毎年8月末から活動を始めていたが、6月（1学期）から活動を始めることとした。  
・一斉キャンペーン、月間キャンペーンを開始した。

H20年 1年間を通じて活動することとした。

H22年 反省会の際に、講演会を開催することとした。



### 5 成果と課題

#### (1) 成果・効果

- ・活動への参加者が増加した。
- ・地域の人たちの交流が深まり、PTAも地域の一員であるという意識が高まったほか、子ども達との交流が深まった。

#### (2) 苦労した点

- ・参加者の確保、住民の理解を得ること、他団体との協力。活動を始めて数年はあいさつは家庭で教えるものであり、地域でやる必要はないという人もいたが、コツコツと活動を続けたことで理解を得ることができた。

#### (3) 今後の課題・展望

- ・活動の継続と他団体との協力が課題。PTAや学校とのスケジュール調整や活動の進め方の協議が必要不可欠である。

#### (4) メッセージ・アドバイス

- ・毎日毎日の地道な活動が必要。無理にあいさつを強要することは逆効果で、子どもたちにあいさつの効果が表れるまでには時間がかかり、学校とPTAの協力が大事である。